
異世界へ行けるようになりました。(仮)

大月凜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界へ行けるようになりました。(仮)

【Nコード】

N7001Z

【作者名】

大月凜

【あらすじ】

《異世界へ行けるチャンスやる。行くか行かないかは自由だ。》

突然神が俺の前に現れた。

その日から俺の人生が変わっていく。

主人公である生田亮^{いくたりょう}は夢もやりたいこともなく惰性で大学生活を送っていた。

これは主人公が異世界で活躍するかもしれない？お話です。

初めてで矛盾や間違いが多々あると思いますが、気にしないで下さい。作文は苦手です。

それでは期待せずに、軽い気持ちでお読み下さい。

始まりの章

目の前に白髪、白髭の男が光を伴っていきなり現れた。

『儂は神じゃ』

その男は宙に浮き、後光すらさしていた。顔つきは優しいおじいちゃんといったところか。服装は白いロブであり、杖を持っていた。

「それで？神様が俺になんの用だ？」

亮は神を見てもほんの一瞬驚いただけだった。見えないものは信じないが、見えているものは現実として信じるといった少し変わった性格なのだ。

人は見えないものが見えたとしてもそれを受け止めることはなかなかできない。

神は見えないからこそその神なのだ。

『もう少し驚いてもいいんじゃないか？普通は信じなかったり、畏敬の眼差しをするぞ』

「何もないとところから出てきたんだ、信じるほかない。それに、様をつけて敬ってるだろ？だから早く用件を言ってくれ」

『まあ、いいだろう。《異世界へるチャンスをやる。行くか行かないかは自由だ。》』

「いくつか聞きたいことがあるんだが？」

『なんじゃ？言ってみろ』

「一つ目は異世界に行つて俺にメリットはあるのか？」

『異世界には魔法もあれば、魔物もいる。興味があるだろ？それに、色々な能力を付与する』

「なるほど、確かにそれは興味深い。ファンタジーの世界というわけか。そこで俺は勇者として魔王討伐するのか？」

『やりたいならやったらいい。何をするのかは自由じゃ。』

「自由か…。ならあなたは何が目的で俺を異世界に行かせたいんだ」

『単なる暇つぶしじゃよ。儂クラスの神になると案外暇でな』

神は目を細め、微笑していた。

「なるほど。なにか裏がありそうだが納得しておくことにするよ。それと一番重要なことだが異世界に行ったら、もう戻ってはこれないのか？」

『結論からいうと戻れる。しかし、行くのは簡単だが戻ってくるには白霊石が必要じゃ。白霊石を入手するにしても高価であったり、採掘でも出にくかったりで簡単には手に入らない』

「戻れることがわかれば十分さ。いいよ。どうせ俺も暇だし、ファンタジーにも興味がある。異世界に行くことにするよ」

『さすが儂が見込んだ男じゃ。ちなみに異世界に行っているあいだこっちの時間は止まっておる。安心するんじゃ。それでは能力付与の話をするか…』

能力 p t

『能力は100 p tの中から選ぶのじゃ』

「それは省略しすぎだろ」

『すまん、すまん。例えばだな剣術基礎10 p t、体術基礎10 p t、魔術基礎20 p t、女運60 p t合計100 p tなのじゃ』

（お、女運？）

「…エロじじいかお前は」

『…さて、理解したようじゃし選んでみる』

「さて、どれにするかな。…ん？エロじじい、この魔術上級が150 p tなのはどういうことだ？」

『それは追加 p tじゃ。異世界で色々なことで貢献することによって追加で p tを得ることができ。 p tはこちらの世界でしか使えないがの』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7001z/>

異世界へ行けるようになりました。(仮)

2011年12月23日23時53分発行